

## 令和 3 年度第 1 回小平市入札等監視委員会（WEB 会議）次第

### 1 課長挨拶、事務局職員紹介

### 2 抽出案件の審議

#### （1）総合評価方式案件

- ① 小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事
- ② 小平市庁舎昇降機設備改修工事（I 期工事）

#### （2）委員抽出案件

- ① 小平市立花小金井小学校他 9 校樹木剪定等業務委託（小口委員長抽出案件）
- ② 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和 2 年度構築分）  
（小口委員長・木内委員抽出案件）
- ③ 令和 2 年度ナラ枯れ被害対応業務委託（池畑副委員長抽出案件）
- ④ 小平市立小・中学校教育用 PC (GIGA スクール構想) 購入(その 2)  
（池畑副委員長・木内委員案件）

### 3 閉会

#### 資料

資料 1 審議案件の工事・業務内容等について

資料 2 各委員からの質問事項への回答

## 審議案件の工事・業務内容等について

## 1 総合評価方式案件

- (1) 小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事 . . . . 1
- (2) 小平市庁舎昇降機設備改修工事（I期工事） . . . . 6

## 2 業務委託契約・物品購入契約案件

- (1) 小平市立花小金井小学校他 9 校樹木剪定等業務委託 . . . . 10
- (2) 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和 2 年度構築分） . . . . 10
- (3) 令和 2 年度ナラ枯れ被害対応業務委託 . . . . 10
- (4) 小平市立小・中学校教育用 PC(GIGA スクール構想)購入(その 2) . . . . 10

## 1 総合評価方式案件

### (1) 小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事

#### <目的>

小平市リサイクルセンター整備基本計画に基づいて、旧リサイクルセンター解体後の敷地に、地域の憩いの場を整備する。

## 1 工事場所 小平市小川東町5丁目19～20番先

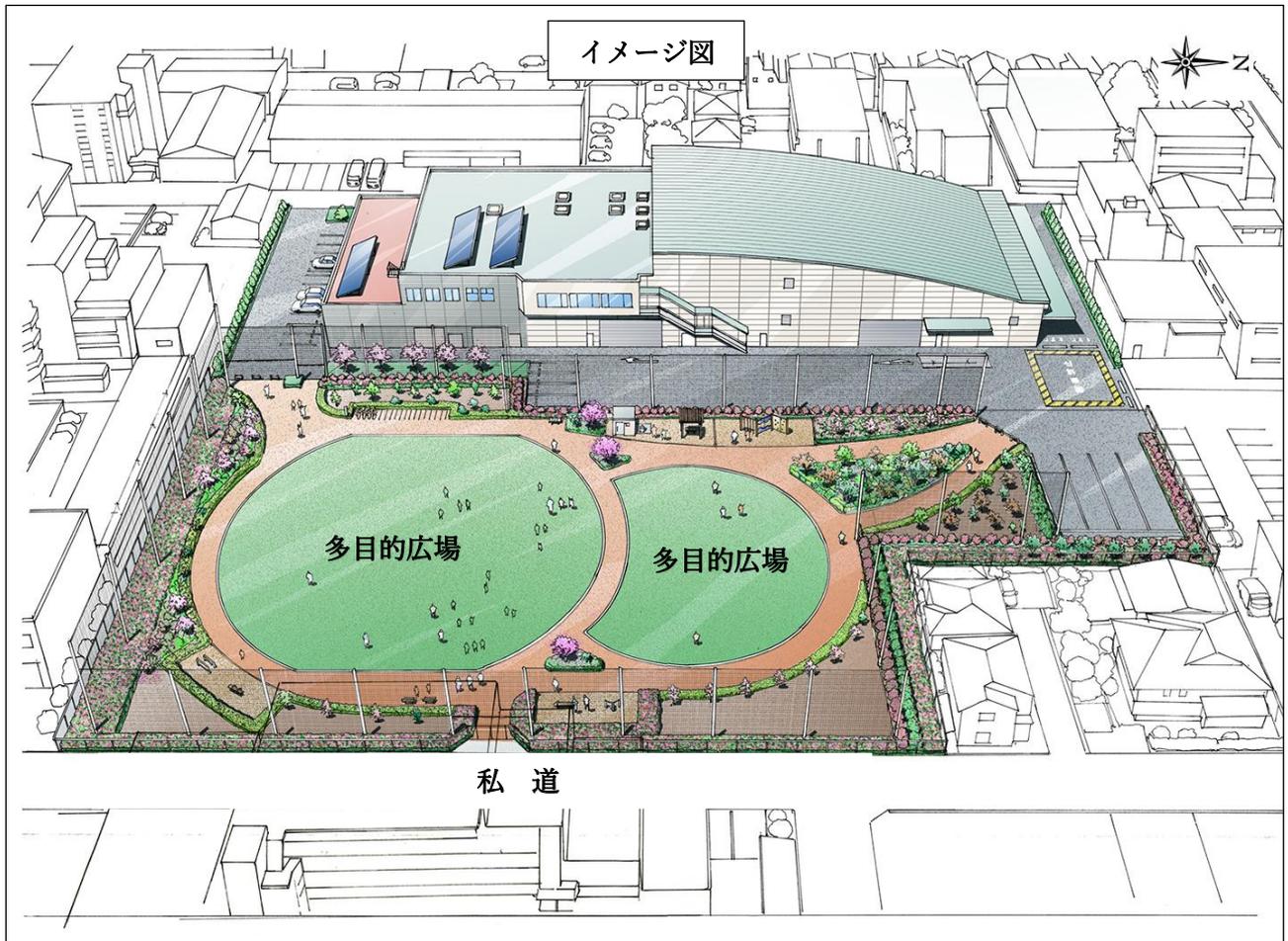
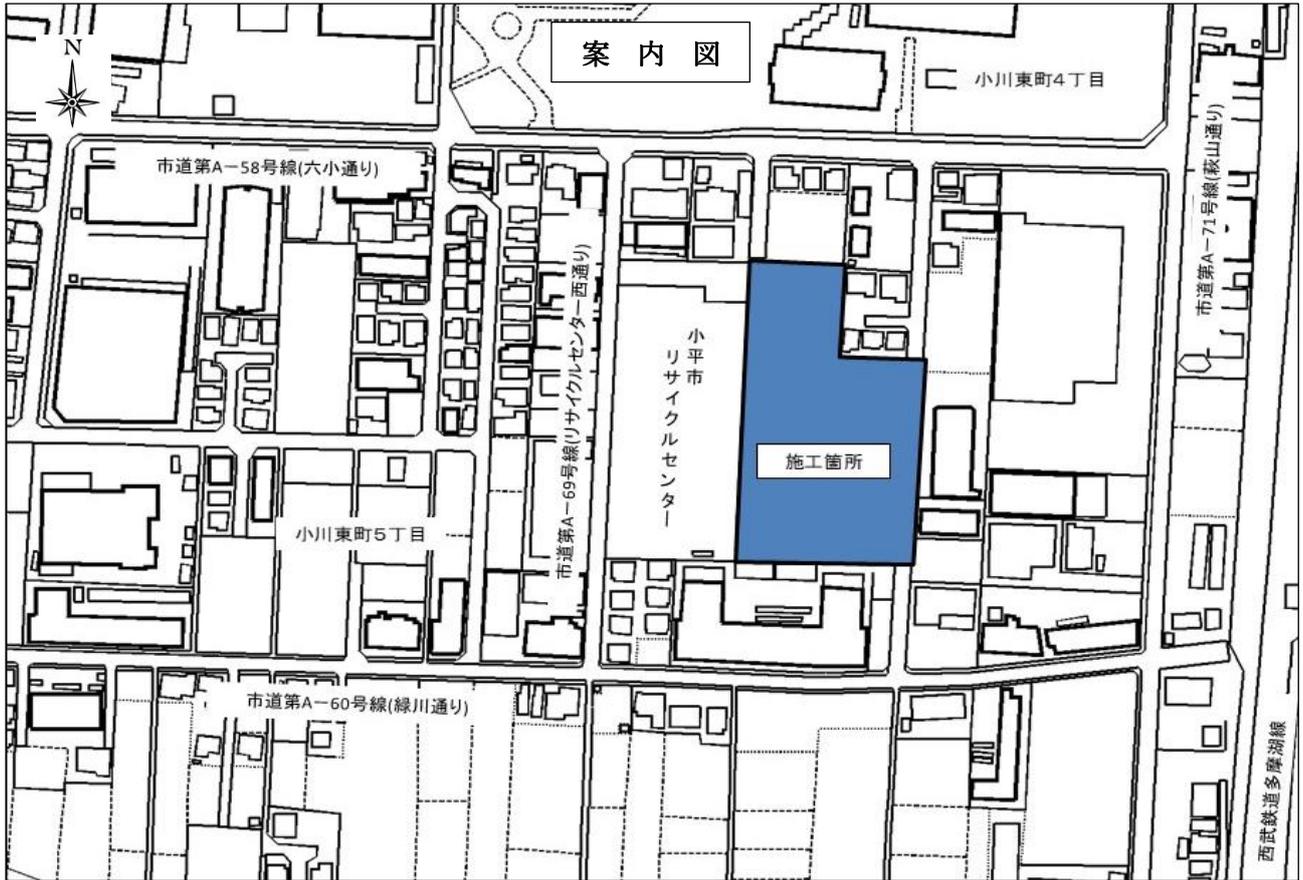
## 2 工事概要

### (1) 工期及び工事時間帯

- ① 工期：令和2年12月21日から令和4年2月9日まで(275日間)
- ② 工事時間帯：9：00～18：00（昼間施工）

### (2) 主な工事内容

- ① 施工面積：約6,500㎡
- ② 施工内容
  - ア 舗装工：透水性カラーアスファルト舗装(t=350mm) 980㎡、ゴムチップ舗装(t=175mm) 36㎡
  - イ 施設工：複合遊具、健康遊具 4箇所、トイレ、パーゴラ、ベンチなどフェンス(H=1.8m) 224.9m、防球ネット(H=9,12m) 278.2m
  - ウ 植栽工：高木・・・56本(イロハモミジ、ヨウコウザクラなど)  
中木・・・168本(トキワマンサク、西洋シャクナゲなど)  
低木・・・6235株(クルメツツジ、オタフクナンテンなど)  
多目的広場・・・1932㎡(張芝、種子散布)
  - エ 街築工等：U形側溝、浸透トレンチ管、浸透ます、歩車道境界ブロック
  - オ 私道舗装：施工延長L=82.5m、施工幅員W=6.0m、車道舗装(t=200mm)424㎡



小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事落札者決定基準

評価項目		評価基準	基準	
企業の技術力	企業の施工能力	工事成績 (小平市が過去7年以内で発注した同種工事(※1)のうち、契約金額が本案件の予定価格に対して10分の1以上である契約の工事成績最高点)	90点以上	7
			80点以上90点未満	6
			75点以上80点未満	5
			70点以上75点未満	4
			70点未満又は実績なし	0
	優良表彰(国・都道府県に限る) (過去3年以内に、受注した同種工事(※2)において、優良表彰を受けた工事のうち、契約金額が本案件の予定価格に対して2分の1以上である契約があること。)	あり	3	
		なし	0	
		工事实績 (過去3年間、市内業者は7年間)	同種(※2)かつ同規模以上の工事实績あり	5
	配置予定技術者	保有資格	1級技術者	5
			2級技術者	3
			その他の技術者	0
		工事成績 (市外業者は過去3年間、市内業者は過去7年間に於いて、官公庁の同種工事(※2)における主任(監理)技術者として、予定価格に対して1/2以上である契約の工事成績)	90点以上	10
			80点以上90点未満	8
			75点以上80点未満	6
			70点以上75点未満	4
60点以上70点未満			2	
60点未満又は実績なし			0	
企業の技術力最高点(A)			30	
企業の信頼性・社会性	地域密着度	市内の本店の有無	あり	1
			なし	0
		a又はb a 市民雇用率	当該工事において労働者の20%以上が市民	1
			その他	0
			b 社員の新規雇用	市民又は市内大学等に通う学生の雇用
	格取差是正への取り組み	労務単価	2省協定労務単価以上	5
			2省協定労務単価の90%以上	4
			2省協定労務単価の80%以上	3
			2省協定労務単価の80%未満	0
	環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001の取得</li> <li>・エコアクション21等への登録</li> <li>・事業所に自家消費用の太陽光発電設備を設置</li> </ul>	2つ以上該当	2
			1つ該当	1
			該当なし	0
	障がい者雇用の取り組み (3年以上の雇用) ※法の適用利率による	3	重度身体障害者2名以上(肢体・体幹不自由は1名以上)又は知的障害者若しくは精神障害者1名以上の雇用 (法適用:2.5%以上かつ重度身体障害者2名以上(肢体・体幹不自由1名以上)又は知的障害者若しくは精神障害者1名以上)	2
			重度身体障害者1名 (法適用:2.5%以上かつ重度身体障害者1名)	1
雇用なし			0	

社会 貢献	障害者就労施設等からの調達の実績	あり	1
		なし	0
	・男女共同参画の推進 (育児・介護休業制度等の実績の有無) ・母子家庭等の継続雇用の実績	2つ以上の施策の取得実績あり	2
		1つの施策の取得実績あり	1
		なし	0
	女性活躍推進法に基づく認定取得等（義務のない場合は、任意の行動計画策定・届出、又は、国家資格保有女性技術者の雇用）の有無	あり	1
		なし	0
	高齢者雇用の有無 (3年以上の雇用)	5人以上の雇用	2
		2人以上雇用	1
なし		0	
地域 貢献	・本市との災害時の応援等に係る協定等の有無 ・災害協定に基づく災害活動等の実績の有無 (総合防災訓練の参加を含む) ・被災者雇用の有無 (東日本大震災以降で災害救助法の適用を受けた災害の被災者の雇用)	1つ以上該当	1
		該当なし	0
	・小平市内におけるボランティア活動の実績 (3年以上継続的に行っていること) ・地域社会への貢献活動	1つ以上該当	1
		該当なし	0
	緊急対応工事の実施実績(過去3年以内)	あり	1
		なし	0
企業の信頼性・社会性最高点 (B)			20
合計最高点 (A + B)			50

※1 同種工事は、東京電子自治体共同運営電子調達サービスにおいて、小平市が業種を「一般土木工事」として発注した工事を言う。

※2 同種工事は、東京電子自治体共同運営電子調達サービス「建設工事等競争入札参加資格申請の手引き」に定める「一般土木工事」とする(他の業種に該当しない土木工事)。

## (2) 評価方法

価格点と技術点を合計した評価値が、最も高い者を落札者とします。

**評価値＝価格点＋技術(品質)点**

◎価格点の算出方法

$$50点 \times \left[ \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{失格基準}} + \frac{\text{失格基準}}{\text{入札価格}} \right] \times \frac{1}{2}$$

◎技術(品質)点の算出方法

$$50点 \times \frac{\text{評価項目の合計獲得点}}{\text{評価項目の最高獲得可能点(満点)}}$$

※ 価格点及び技術点は小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位までの値とする。

入札者の入札価格及び評価の状況

—	入札価格(円) (税抜き)	価格点	技術点	評価値
株式会社山口建興	154,000,000	17.39	28	45.39
株式会社菅井商建	153,000,000	18.02	10	28.02
石川建設株式会社	辞退	—	—	—
井上建設工業株式会社	辞退	—	—	—

評価項目の合計獲得点の内訳

—	株式会社 山口建興	株式会社 菅井商建	石川建設 株式会社	井上建設工 業株式会社
企業の施工能力	8	3	—	—
配置予定技術者	5	5	—	—
地域密着度	2	1	—	—
格差是正への取り組み	5	0	—	—
環境配慮	1	0	—	—
社会貢献	4	0	—	—
地域貢献	3	1	—	—
合計	28	10	—	—

(2) 小平市庁舎昇降機設備改修工事(I期工事)

<目的>

庁舎の既存エレベーター4台のうち2台(1号機及び4号機)の撤去及び新設を行う。

1 工事場所 小平市小川町2丁目1, 333番地

2 工事概要

(1) 工期及び工事時間帯

- ① 工期：令和3年3月16日から令和4年3月16日まで(175日間)
- ② 工事時間帯：9：00～18：00(昼間施工)

(2) 工事内容

① 1号機(2・3号機も同様)

積載質量/定員：750kg/11人乗(既存15人乗)

かご寸法：幅1400mm 奥行き1350mm 天井高さ2250mm程度

出入口寸法：幅900mm 高さ2100mm

耐震クラス：S(耐震クラスAより地震時の構造部分の損傷が少なく地震後のエレベーターの速やかな機能回復ができるもの。)

② 4号機

積載質量/定員：600kg/9人乗(既存11人乗)

かご寸法：幅1400mm 奥行き1100mm 天井高さ2250mm程度

出入口寸法：幅900mm 高さ2100mm

耐震クラス：A(標準クラス)

項目	R2年度					R3年度					R4年度				
	6月	8月	10月	12月	2月	6月	8月	10月	12月	2月	6月	8月	10月	12月	2月
I期工事(1号機・4号機)						➔									
II期工事(2号機・3号機)											➔				

小平市庁舎昇降機設備改修工事(Ⅰ期工事)落札者決定基準

評価項目		評価基準	基準	
企業の技術力	企業の施工能力	優良表彰（国・都道府県に限る） （過去3年以内に、受注した同種工事(※1)において、優良表彰を受けた工事のうち、契約金額が本案件の予定価格に対して2分の1以上である契約があること。）	あり	3
			なし	0
		工事实績 （過去3年間、市内業者は7年間）	同種(※1)かつ同規模以上の工事实績あり	10
		同種かつ1/2以上の工事实績あり	5	
		同種かつ1/2以上の工事实績なし	0	
	配置予定技術者	保有資格	1級技術者	7
			2級技術者	5
			その他の技術者	0
		工事成績 （市外業者は過去3年間、市内業者は過去7年間において、官公庁の同種工事(※1)における主任（監理）技術者として、予定価格に対して1/2以上である契約の工事成績）	90点以上	10
			80点以上90点未満	8
			75点以上80点未満	6
			70点以上75点未満	4
	60点以上70点未満	2		
	60点未満又は実績なし	0		
企業の技術力最高点（A）			30	
企業の信頼性・社会性	地域密着度	市内の本店の有無	あり	1
			なし	0
		a又はb a 市民雇用率	当該工事において労働者の20%以上が市民	1
			その他	0
			b 社員の新規雇用	市民又は市内大学等に通う学生の雇用
		なし	0	
	格差是正への取り組み	労務単価	2省協定労務単価以上	5
			2省協定労務単価の90%以上	4
			2省協定労務単価の80%以上	3
			2省協定労務単価の80%未満	0
	環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001の取得</li> <li>・エコアクション21等への登録</li> <li>・事業所に自家消費用の太陽光発電設備を設置</li> </ul>	2つ以上該当	2
			1つ該当	1
			該当なし	0
		障がい者雇用の取り組み （3年以上の雇用） ※法の適用利率による	重度身体障害者2名以上（肢体・体幹不自由は1名以上）又は知的障害者若しくは精神障害者1名以上の雇用 （法適用：2.5%以上かつ重度身体障害者2名以上（肢体・体幹不自由1名以上）又は知的障害者若しくは精神障害者1名以上）	2
重度身体障害者1名 （法適用：2.5%以上かつ重度身体障害者1名）			1	
雇用なし			0	

社会貢献	障害者就労施設等からの調達の実績	あり	1
		なし	0
	・男女共同参画の推進 (育児・介護休業制度等の実績の有無) ・母子家庭等の継続雇用の実績	2つ以上の施策の取得実績あり	2
		1つの施策の取得実績あり	1
		なし	0
	女性活躍推進法に基づく認定取得等（義務のない場合は、任意の行動計画策定・届出、又は、国家資格保有女性技術者の雇用）の有無	あり	1
		なし	0
	高齢者雇用の有無 (3年以上の雇用)	5人以上の雇用	2
		2人以上雇用	1
なし		0	
地域貢献	・本市との災害時の応援等に係る協定等の有無 ・災害協定に基づく災害活動等の実績の有無 (総合防災訓練の参加を含む) ・被災者雇用の有無 (東日本大震災以降で災害救助法の適用を受けた災害の被災者の雇用)	1つ以上該当	1
		該当なし	0
	・小平市内におけるボランティア活動の実績 (3年以上継続的に行っていること) ・地域社会への貢献活動	1つ以上該当	1
		該当なし	0
	緊急対応工事の実施実績(過去3年以内)	あり	1
		なし	0
企業の信頼性・社会性最高点 (B)			20
合計最高点 (A + B)			50

※1 同種工事は、昇降機設備改修工事等をいう。

## (2) 評価方法

価格点と技術点を合計した評価値が、最も高い者を落札者とします。

$$\boxed{\text{評価値} = \text{価格点} + \text{技術(品質)点}}$$

◎価格点の算出方法

$$50 \text{点} \times \left[ \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{失格基準}} + \frac{\text{失格基準}}{\text{入札価格}} \right] \times \frac{1}{2}$$

◎技術(品質)点の算出方法

$$50 \text{点} \times \frac{\text{評価項目の合計獲得点}}{\text{評価項目の最高獲得可能点(満点)}}$$

※ 価格点及び技術点は小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位までの値とする。

入札者の入札価格及び評価の状況

—	入札価格(円) (税抜き)	価格点	技術点	評価値
三菱電機ビルテクノサービス 株式会社	92,350,000	28.83	13	41.83
株式会社日立ビルシステム 首都圏支社	辞退	—	—	—
三精テクノロジーズ株式会社 東京支店	辞退	—	—	—

評価項目の合計獲得点の内訳

—	三菱電機ビルテクノ サービス株式会社	株式会社日立ビルシ ステム 首都圏支社	三精テクノロジーズ 株式会社 東京支店
企業の施工能力	10	—	—
配置予定技術者	0	—	—
地域密着度	0	—	—
格差是正への取り組み	0	—	—
環境配慮	2	—	—
社会貢献	0	—	—
地域貢献	1	—	—
合計	13	—	—

## 2 業務委託契約・物品購入契約案件

### (1) 小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託

#### ① 契約内容

学校の樹木の剪定・伐採・伐根業務を行い、適切な学校環境整備を行う。

#### ② 契約期間

令和3年1月20日から令和3年3月17日まで

#### ③ 契約方法

6者の指名競争入札

### (2) 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）

#### ① 契約内容

小平市、東村山市、東久留米市が共同で利用する住民情報システムの構築・運用を行う。

#### ② 契約期間

令和3年2月3日から令和3年3月31日まで

#### ③ 契約方法

プロポーザル方式による随意契約

### (3) 令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託

#### ① 契約内容

小平市の管理する樹木において、ナラ枯れ等により枯損した樹木を伐採する。

#### ② 契約期間

令和2年10月27日から令和2年12月28日まで

#### ③ 契約方法

6者の指名競争入札

### (4) 小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)

#### ① 契約内容

GIGAスクール構想の学習環境を実現するため、学習用コンピュータを購入する。

#### ② 納入期限

令和3年3月22日まで

#### ③ 契約方法

条件付一般競争入札

## 各委員からの質問事項への回答

## 各委員からの質問事項への回答について

1	小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事	・・・ 1
2	小平市庁舎昇降機設備改修工事（I期工事）	・・・ 5
3	小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託	・・・ 8
4	小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）	・・・ 9
5	令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託	・・・ 12
6	小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)	・・・ 13

### 小口委員長抽出案件

- 1 小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託
- 2 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）

### 池畑副委員長抽出案件

- 1 令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託
- 2 小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)

### 木内委員抽出案件

- 1 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）
- 2 小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)

## 各委員からの質問事項への回答について

1	小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事	・・・ 1
2	小平市庁舎昇降機設備改修工事（I期工事）	・・・ 5
3	小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託	・・・ 8
4	小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）	・・・ 9
5	令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託	・・・ 12
6	小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)	・・・ 13

### 小口委員長抽出案件

- 1 小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託
- 2 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）

### 池畑副委員長抽出案件

- 1 令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託
- 2 小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)

### 木内委員抽出案件

- 1 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）
- 2 小平市立小・中学校教育用PC(GIGAスクール構想)購入(その2)

## 令和3年度第1回小平市入札等監視委員会抽出案件に係る事前質問について

### 1 小平市リサイクルセンター地域還元エリア整備工事について

(1) 本工事の内容は、リサイクルセンターの建設で交通の増加などで迷惑をかける地域に対して、道路と広場を整備して少しでもその解消を図るという事業と受け取れるが、施工理由に記載されている「市民との協調及び地域との調和」とはどういう意味か。(小口委員長)

(回答)

小平市リサイクルセンター整備基本計画において、リサイクルセンターは「市民との協調及び地域との調和を図る施設」をコンセプトの一つとしており、その中で旧施設の解体跡地を地域還元エリアとして整備し、環境に関するイベントの開催のほか、地域住民の憩いの場として有効利用することとしております。

なお、計画の策定にあたっては周辺住民を含むワークショップを立ち上げるとともに、小平市廃棄物減量等推進審議会での検討、パブリックコメント及び市民懇談会の実施を行い、住民意見の反映に努めました。

(2) 本件は2か年度に渡る継続契約案件であるが、①前金払、②中間前金払、③部分払、④しゅん功払の意味と支払い額について説明を求める。(小口委員長)

(回答)

① 前金払については、工事の完成前に資材購入や労働者の確保等、建設工事の着工資金の確保のため、工事代金の一定割合（4割以内、上限2億円）を支払うものになります。

② 中間前金払については、工事の完成前に資材購入や労働者の確保等、建設工事の資金の確保のため、工期の1/2が経過し、工期の1/2を経過するまでに実施すべきものとされている工事が完了し、工事の進捗額が契約額の1/2以上の場合に工事代金の一定割合（2割以内、上限1億円）を支払うものになります。

③ 部分払については、工事の既済部分を検査後支払うものになります。

④ しゅん工払いは、工事完成後に検査後支払うものになります。

※ ①前金払②中間前金払については、支払った前払金が損失とならないよう、前払金保証事業会社の保証が支払いには必要となります。

支払額については、契約金額は税込 169,400,000 円で、そのうち前払金として令和 2 年度に 67,700,000 円を支払っています。そして、残額の 101,700,000 円を令和 3 年度にしゅん功払いとして支払う予定となっております。

(3) 本件の受注業者の技術評価項目の記載は、市への協力という点からみれば目を見張るものがある。市内業者は、何らかの形でこのような取り組みがされているということか。(小口委員長)

(回答)

総合評価方式においては、価格だけでなく技術力や企業の信頼性・社会性会性を評価し落札者を決定するため、事業者は落札するために技術評価項目に対する取り組みについて企業努力を行っていると捉えております。

(4) ①落札業者は企業の技術力が高く評価されていますが、評価基準で特にここだけは必ず入っているか確認する評価項目はありますか。②小平市で特に気を付けている特記仕様事項はありますか。あれば特徴的なことを教えてください。(池畑副委員長)

(回答)

- ① 評価基準については、必須項目は設定していませんが、配置予定技術者の工事成績の配点を高くするなど、重視してほしい項目については配点を高く設定しております。
- ② 市では、環境に配慮し使用する材料について、コンクリート二次製品を用いる場合は原則エコセメントを用いた製品を使用することとしています。  
また、本工事においては、施工前後に近隣住宅の家屋調査を行うこととしております。

(5) 工事費総括書の内訳をみると、現場管理費が 21%を占めていますが、そのうち主な支払い項目は何ですか。(池畑副委員長)

(回答)

現場管理費とは、工事を施工するにあたり工事現場の管理をするために必要な経費でございます。現場管理費の主な項目として、現場労働者に係る作業用被服や通勤費用などの「労務管理費」、現場労働者の安全・衛生に要する「安全訓練等に要する費用」、自動車保険や工事保険、その他の損害保険の「保険料」などがございます。

(6) 小平市リサイクルセンター整備基本計画について概要を教えてください。  
(池畑副委員長)

(回答)

本計画については、平成5年度より稼働してきた旧リサイクルセンターの老朽化や、小平市、東大和市、武蔵村山市の3市で策定した「3市共同資源物事業基本構想」において、プラスチック製容器包装及びペットボトル以外の資源物については各市での処理を行うこととなったことなどを踏まえ、引き続き安全、安心で安定した処理を行う施設を整備するため、平成28年2月に策定した計画になります。

この計画の中で、リサイクルセンター施設と地域還元エリアを合わせた敷地全体を「小平市リサイクルセンター」とすることとしております。

(7) 地域住民の憩いの場所として建物を建設する予定だと思いましたが、具体的に利用目的・方法・効果等想定されている計画書の範囲で教えてください。  
(池畑副委員長)

(回答)

小平市リサイクルセンター整備基本計画においては、周辺住民を含むワークショップでの意見を反映し、地域還元エリアを「自然と触れ合える」「老若男女を問わずに市民がだれでも使える」「環境学習につながる」「防犯に配慮する」ことを踏まえた憩いの場とすることを基本方針としており、多目的広場及び周遊道その他、健康遊具やベンチ、トイレなどを配置する計画となっています。

そして、日常的には子供の遊びや自転車の練習、散歩などが行える広場として活用するとともに、フリーマーケットなど施設と連動した環境イベントや環境学習を行うことを想定しております。

また、施設にも見学者ルートや体験設備・展示等を設置しており、小学生の団体見学や一般の利用者の見学を随時受け付けているほか、ダンボールコンポストや廃油から作るせっけん講習会など、3Rに関するイベントを開催できる多目的ルームを備えており、環境学習の拠点と位置付けているところです。

その他にも、優良粗大家具等の再生・展示・販売を行っているリプレこだいらが営業しており、利用者へ安価に販売することでごみの減量に努めております。

なお、施設の北側部分は資源物の中間処理施設となっているため、周辺への騒音・悪臭等に配慮し、防音対策を施した施設設計とするとともに、周辺環境に配慮した運転を行っております。

(8) 小平市内にこのような市民の憩いの場となる施設は何か所ぐらいありますか。本年のようにコロナ禍でもそのような場所は使用されておりますか。

(池畑副委員長)

(回答)

資源循環課で所管している施設としてはリサイクルセンターのみとなっております。また、新型コロナウイルスへの対策については、緊急事態宣言等の発出状況や東京都における施設の利用制限の基準に従い、見学の中止や一部制限を設けての実施など、感染防止対策をとりながら適宜対応しております。

(9) 工事予定価格(税抜 154,261,000 円)に対し、入札した 2 社の入札価格は 154,000,000 円と 153,000,000 円である。工事予定価格は予め業者に開示されているのか。開示されていないとすると落札率が 99.83%、99.18%と予定価格に近接しているのは何故なのか。(木内委員)

(回答)

お見込みのとおり、総合評価方式の案件については、工事予定価格を事前に公表しております。

(10) エリア整備工事がどのような工事なのか頂いた資料からは不明だが、施設整備の設計図面は予めできているのか。設備設計は別業者が入札したのか。

(木内委員)

(回答)

本工事の整備対象施設としては多目的トイレがございます。なお、施設整備の設計図面は作成完了済で、設備設計と同業者となります。

## 2 小平市庁舎昇降機設備改修工事（I期工事）について

(1) 本件は、3社のうち2者が辞退した案件である。これでは適切な競争が行われたとはいえない。今後、辞退理由を調査するとともに入札業者を増やすなどの工夫が必要ではないか。（小口委員長）

(回答)

本案件については、公告により参加事業者を募りましたが、エレベーター工事の事業者が少ないこともあり3者の申請となったと捉えております。辞退理由については、工事担当課と共有し、今後の入札の参考としてまいります。

(2) 辞退理由に記載されている石綿箇所の処理方法、昇降路の寸法などは、事前に周知するものではないか。（小口委員長）

(回答)

入札の公告を行う時点では工事の概要のみ示しており、特記仕様書や設計図書は示しておりませんので、申し込み時点では工事の詳細を確認することができません。そのため、市が入札参加資格を確認した後に、事業者は石綿箇所の処理方法及び昇降路の寸法について記載した特記仕様書及び設計図書を確認することとなります。

なお、特記仕様書や設計図書を公告の段階で広く公表することは現在のところは検討しておりません。

(3) 入札業者が落札業者1社のみで2社が辞退しております。  
辞退理由がわかれば教えてください。（池畑副委員長）

(回答)

辞退理由は、1社が「元請として、石綿を含む箇所の施工を請負う事が出来ないため」、もう1社が「昇降路寸法不足のため」です。

(4) 庁舎のエレベーター4台のうち2台(1号機及び4号機)の撤去されるエレベーターは、いつ頃設置されたものですか。定期的に交換するのであればそのサイクルも教えてください。(池畑副委員長)

(回答)

庁舎エレベーターは、庁舎が建築された1983年(昭和58年)に設置されました。設備の目標耐用年数である30年程度を交換の目安としていますが、個別の状態により判断します。

(5) 1期工事ということは他の2台も次期に予定されていると思います。その時期はいつ頃になりますか。その場合入札業者が違って仕様書は引き継ぐということでしょうか。(池畑副委員長)

(回答)

令和元年度に行った設計に基づき、令和2年度に契約した1期工事に続き、他の2台についても令和3年度4号補正(5月)で予算を計上し、議会で採択されました。エレベーターのメーカーが異なる場合は、群管理制御ができないため、効率的な運行や制御を見据え、市としてはメーカーを統一するため、特命随意契約を考えています。

(6) 落札価格が予定価格の90.26%と低くなっておりませんが、ここまで価格を低く抑えられた理由と、元々予定価格が高く設定されていたのか、わかる範囲で教えてください。(池畑副委員長)

(回答)

昇降機設備の予定価格については、国などでも非常に苦慮していると伺っています。

市でも見積りメーカーにヒアリングを実施して実勢価格の把握に努め、その上で東京都市建設行政協議会の積算基準に基づき適正に積算をおこない、予定価格を算出しております。

落札価格が低く抑えられた理由としては、最終的にメーカーによる競争の原理が働いたためと考えております。

(7) 3業者のうち入札に参加したのは1社のみである。他の2社が入札を辞退したのは何故か。(木内委員)

(回答)

辞退理由は、1社が「元請として、石綿を含む箇所の施工を請負う事が出来な  
いため」、もう1社が「昇降路寸法不足のため」です。

(8) 庁舎のエレベーターはもともとどこのメーカーのエレベーターか。改修後  
は別のメーカーのエレベーターを入れるのか。(木内委員)

(回答)

現在のエレベーターのメーカーは株式会社日立ビルシステムです。契約締結  
の相手方は、三菱ビルテクノサービス株式会社なので、改修後は別のメーカーと  
なる予定です。

(9) 今回の入札は庁舎エレベーター4台のうちの2台である。他の2台は改修し  
ないのか。いつ改修するのか。4台同時に入札しないのは何故か。他の2台も  
同じ業者が工事を請負うことになるのか。(木内委員)

(回答)

令和元年度に行った設計に基づき、令和2年度に契約した1期工事に続き、  
他の2台についても令和3年度4号補正(5月)で予算を計上し、議会で採択さ  
れました。エレベーターのメーカーが異なる場合は、群管理制御ができないため、  
効率的な運行や制御を見据え、市としてはメーカーを統一するため、特命随意  
契約を考えています。

4台同時に入札をしなかった理由としては、財源となる新型コロナウイルス  
感染症対応地方創生臨時交付金は、令和2年度からの2か年で完了する事業が  
対象となることから、同期間内で施工が可能な台数として2台としたことが理  
由です。

### 3 小平市立花小金井小学校他9校樹木剪定等業務委託について

(1) 市内および周辺地域の業者を育成するという視点に立って、より多くの業者の参加を考察することが必要である。そこで、本案件のような業務は半分に分けて入札することはできないものか。(小口委員長)

(回答)

事業の効率的な執行を勘案し、本件と同程度の業務委託を、小学校で2件、中学校で1件の計3件に分けて、発注しています。

(2) 環境に良い自動車とはどんな車か。また、業者はこのような車を所有しているのか。(小口委員長)

(回答)

市では、自動車を使用、または利用する全ての業務について、次の事項を遵守することを仕様で規定しております。該当する自動車を所有していない場合は、入札に参加できないこととなります。

- (1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第215号)第37条のディーゼル車規制に適合する自動車であること。
- (2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(平成4年法律第70号)の対策地域内で登録可能な自動車であること。

(3) 本作業を民家と接する場所でおこなう場合は、周辺住民にチラシなどを配布するということか。(小口委員長)

(回答)

お見込みのとおりです。

(4) 本市は、教育委員会で学校に植える樹木を定めているのか。(小口委員長)

(回答)

特に定めておりませんが、学校と調整のうえ、樹種を決定しております。

#### 4 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）について

(1) 今日、国の各省庁で使われている情報システムはその7割が1事業者しか参加しない「1者応礼」だったと会計検査院から報告されている。小平市の各システムも委託契約ではこのようなケースがみられるのか。（小口委員長）

(回答)

情報システム構築等業務委託については、プロポーザル方式により調達を行っております。過去3年間の実績は以下のとおりになります。

##### 【令和2年度】

- ① 小平市都市開発三業務システム構築業務委託  
プロポーザル応募事業者数 1者
- ② 小平市新住民情報システム再構築業務委託（令和2年度構築分）  
プロポーザル応募事業者数 3者
- ③ 小平市公共施設予約システム再構築業務委託  
プロポーザル応募事業者数 1者

##### 【令和元年度】

- ① 小平市後期高齢者医療システム再構築業務委託  
プロポーザル応募事業者数 1者
- ② 小平市生活保護システム再構築業務委託  
プロポーザル応募事業者数 1者

##### 【平成30年度】

- ① 小平市人事給与・出退勤システム再構築業務委託  
プロポーザル応募事業者数 2者

(2) 小平市、東村山市、東久留米市の三市で運営している本業務は、三市の合意がなければシステムは変えられないということか。また、三市によるシステム運営の話し合いは定期的におこなわれ不備等の改善箇所の対応などはすばやく解決できると考えてよいのか。(小口委員長)

(回答)

① システム改修について

法改正やバージョンアップなどの必須のシステム改修は、合意の有無に関わらず実施いたします。必須ではない、いわゆる便利機能の追加(カスタマイズ)については、三市の合意により実施することとなります。

② 定例会議について

現在、令和4年1月からの新システム稼働に向け、三市及びシステム事業者による定例会議を定期的実施しています。

令和4年1月のシステム稼働後についても、引き続き、三市及びシステム事業者による定例会議を月1回のペースで開催する予定です。

また、定例会議とは別に、システム上の不備や改善箇所があれば、直ちに協議の場を持ち、解決いたします。

(3) 本件はプロポーザル審査の結果、優先交渉事業者とされた業者と交渉し、その業者が72,647,300円(税込み)で落札したものと理解してよいか。  
(木内委員)

(回答)

お見込みのとおりです。

(4) システム再構築業務の令和2年度構築分と令和3年度構築分を分けて契約するとあるが、令和3年度構築分の業務委託費はいくらになるのか。  
(木内委員)

(回答)

令和3年度構築分の業務委託費は、60,644,870円(税込)で令和3年4月1日に令和2年度構築分を受託した株式会社日立システムズと特命随意契約を締結いたしました。

(5) 小平市と東村山市、東久留米市の3市が発注者になっているが、3市で住民情報システムを共同利用することのメリットはどこにあるのか。住民サービスの向上と行政運営の効率化を図るとあるが、3市のみではその目的は十分に達成できないのではないか。(木内委員)

(回答)

① 経費の削減

一市単独で再構築を行うのに比べ、複数の団体で共同利用することで割り勘効果により、経費を削減することができます。また、稼働後に発生するシステム改修についても同様の割り勘効果が期待できます。

なお、共同利用する団体数が多いほど、割り勘効果により経費の削減効果は、大きくなります。

② 個人情報管理の向上

現状よりも堅牢なデータセンターでの運用・管理を予定しており、個人情報管理のレベルを向上させます。

③ 将来に向けた柔軟で拡張性のある取り組み

今回、三市で取り組む住民情報システムの共同利用は、他の団体の途中加入も可能であり、国が進めるガバメントクラウドの取り組みなど、将来に向けた柔軟で拡張性のある取り組みになります。

## 5 令和2年度ナラ枯れ被害対応業務委託について

(1) 植生管理の実績のある企業が入札されたと思いますが、市内業者から選定した理由がわかれば教えてください。(池畑副委員長)

(回答)

小平市調達の基本指針に基づき、市内事業者のみで競争環境が整う場合は、地域経済の活性化や市内事業者の育成という観点から、市内事業者のみでの選定をしています。

(2) ナラ枯れ被害を受けやすい対象樹木が多くなると、業務委託金額も大きくなりますが、その対策を考えておりますか。(池畑副委員長)

(回答)

小平市の雑木林の多くは、ナラ枯れ病に感染するとされている樹種であるクヌギやコナラが中心の樹林です。そのため、ナラ枯れの被害を受けやすいと考えられます。

しかし、被害を受けた全て樹木の伐採処理を行うことは、財政上の理由などから困難であるため、生存木(原因となる虫が穿入しても枯死しなかった木)については可能な限り保存し、主に完全に枯死した樹木を伐採しました。

また、今年度、小平市緑化推進委員会より提出された「小平市におけるナラ枯れ病対策の緊急提言」をもとに、市内の樹林にて、原因となる虫を捕まえるためのトラップ設置による予防措置を試行的に実施し、被害の抑制対策を講じております。

(3) 一度被害が治まった地域でも再び発生する可能性があるかと聞いておりますが、小平市の状況は如何でしょうか。(池畑副委員長)

(回答)

ナラ枯れ病の被害は、過去の事例では約5年～10年間に渡って続くと伺っておりますが、終息後に再度被害が広まるといった事例は把握しておりません。

小平市においては、令和元年度頃から一部の地域で被害が発生していると同っておりますが、市管理地においては、令和2年度に初めて確認いたしました。

令和3年度の被害状況については、現在、トラップの効果を見定めながら確認中です。今後も、状況把握に努めてまいります。

## 6 小平市立小・中学校教育用 PC(GIGA スクール構想)購入(その2)について

(1) GIGA スクール構想の実現のため、「生徒一人一台端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」の整備は各学校で用意されましたか。(池畑副委員長)

(回答)

教育委員会事務局で、令和2年度に Google Chrome OS の端末 15,700 台及び各学級等に輪番充電が可能な充電保管庫を購入しました。また、多くの端末からアクセスが可能な高速大容量の教育系校内通信ネットワークを構築し、令和3年度からの活用に向けた整備は完了しました。

(2) 新時代の学びを支える先端技術や教育ビッグデータの活用は、子供の力を最大限に引き出すために大きな効果が期待できますが、指導体制の準備は万全ですか。(池畑副委員長)

(回答)

令和3年度から教育委員会事務局に ICT 支援員2名を配置しており、各学校への訪問、メール等による相談への回答などを通じて、端末活用の支援及び助言を行っています。また、教員全体に対する研修を行い、教員のレベルアップを図っています。

(3) 国からの補助金は支給されますか。(池畑副委員長)

(回答)

令和2年度に国の、公立学校情報機器整備費補助金、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金、また、都の、東京都公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備支援事業補助金の交付を受けました。

(4) この契約は GIGA スクール構想(その 2)に基づき市内の小中学校に配備する 1,700 台の教育用 PC の購入に係る契約である。GIGA スクール構想に基づく PC 購入はどこまで進んでいるのか。全部で 14,000 台が配備される計画であると理解してよいか。いつごろまでに全生徒に行きわたる計画なのか。  
(木内委員)

(回答)

令和 2 年度に Google Chrome OS の端末 15,700 台を購入しました。1 回目の契約で 14,000 台を購入し、2 回目の契約で 1,700 台を購入しました。令和 3 年度当初に全ての児童・生徒・教員に配備し、残りは予備機としています。

(5) 購入する PC が Lenovo 社の 300e に決定された経緯と理由を明らかにされたい。国内メーカーの PC ではだめなのか。(木内委員)

(回答)

1 回目の契約において、OS (Google Chrome) は指定しましたが、Lenovo 製品の機種指定は行っておりません。「例示機種」という位置づけの中で入札を行った結果、本機種が採用されることになりました。2 回目の契約については、前回購入分の追加発注という位置づけであり、活用開始当初に複数の機種を使用することは適切ではないと考え、仕様書の中で機種指定をしました。

## その他

(1) 契約事務全体について伺う。コロナ禍の入札制度で従来方式と変わったところはどこか。また、事務の処理上、困難となっているところはあるのか。  
(小口委員長)

(回答)

入札制度については、大きな変更はありませんが、コロナ禍により一部業務が中止となったため契約変更を実施した案件や契約解除を行った案件があります。

また、オリンピック関連の契約で、主管課より中止の依頼があり、入札を途中で中止せざるを得ない案件もありました。